

第5分科会 広報活動

会 場 金沢歌劇座

日 程 13:00 ~ 受付
13:30 ~ 13:50 オープニングアトラクション
開会行事
13:50 ~ 14:40 パネルディスカッション①
14:40 ~ 15:30 パネルディスカッション②
15:30 ~ 16:20 パネルディスカッション③
16:20 ~ 16:30 全体のまとめ
16:35 ~ 16:45 閉会行事
16:45 終了



金沢21世紀美術館©金沢市

祝 辞



金 沢 市 長

村 山 卓

このたび第73回日本PTA全国研究大会石川大会が盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、全国から金沢市にお越しになる皆様を心より歓迎いたします。

公益社団法人日本PTA全国協議会をはじめ、関係者の皆様方におかれましては、日頃から家庭や学校、地域社会において、子どもたちの健やかな成長と明るい地域づくりにご尽力をいただいておりますことに、深い敬意と感謝の気持ちを表します。

金沢は、伝統芸能や伝統工芸、豊かな食文化、風情あるまちなみなど、藩政時代から先人たちの不断の努力によって連綿と受け継がれてきた文化を個性とするまちです。この文化を基軸に、地域に関わる多様な人々の視点や活力を取り入れながら革新の息吹を吹き込み、金沢独自の取組を探究し、まちづくりを進めてきました。本大会にお越しになられた皆様におかれましては、今回を機に金沢というまちを存分に感じていただければ幸いです。

近年の人口減少・少子高齢化の進展をはじめ、コロナ禍を経験した人々の意識や価値観・行動の変容、社会の急速なデジタル化など、国内を取り巻く環境が大きく変化しています。このような中で、昨年元日の能登半島地震や9月の豪雨災害など、能登の地域を中心に甚大な被害が発生しました。不確かで見えが難しい時代だからこそ、次代を担う子どもたちや、持続可能な未来のために、行政も的確に対応していかねばなりません。

今回の大会テーマ「サステナブルな未来づくりのために」は、まさに、取り組まねばならない喫緊の課題であり、このような機会に、本大会が開催されますことは、本市にとって大変意義のあることだと思っております。PTA会員の皆様におかれましては、本大会で得た成果を地域や子どもたちに還元していただき、持続可能な社会の実現に繋げていただくよう期待しております。

結びに、公益社団法人日本PTA全国協議会をはじめ、関係者の皆様の御健勝並びに御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

研究課題

学校が楽しくなる！仲間が集まる広報活動

～ 一緒に新しいカギを手に入れよう ～

現状と課題

未来を見据えたサステナブルな地域社会をつくる、学校・家庭・地域が連携した私たちの活動が、メディア・ニュースなどでネガティブに取り上げられ、“正しく伝わっていないこと”で必要な活動も良くないものと判断され、協力が思うように進まない状況が見られるようになりました。PTA活動が理解されるには広報活動が必要不可欠であり、「学校の現状を伝える」「仲間を増やす」「誰でもできる」ことが求められています。

- ①学校の現状を伝えたい なぜ、伝わらないのか・・・知る機会が減ったため？
- ②仲間を増やしたい なぜ、仲間が増えないのか・・・負担が大きいと感じているため？
- ③誰でもできる広報にしたい なぜ、誰でもできないのか
・・・新しい技術への苦手な意識をもっているため？

学校・家庭・地域など広い知識・見識のある講師、パネリストをお招きし、参加者と共に解決のための方策を探り、深い学びを提供します。

討議の視点

- ① 保護者や地域に対して学校からの広報活動
- ② 負担を感じない、やりたいと思える明るい広報活動の共有
- ③ 時代に即した新しい広報活動を共有する場の提案

提言者

- 基調提案・実践発表・パネリスト
 - 的場 茂樹 氏 金沢学院大学准教授
 - 阿部 雄介 氏 岐阜県PTA連合会 会長
 - 大谷 イビサ 氏 (株)角川アスキー総合研究所 TECH.ASCII.jp編集長
- コーディネーター
 - 相羽 大輔 氏 前金沢市PTA協議会会長

コーディネーター



相羽 大輔 氏

経 歴 :
株式会社ドリームガレージ 代表取締役
ソフトウェアエンジニア
金沢市PTA協議会前会長
金沢市立大徳中学校PTA前会長

父親の会に参加したことがきっかけで参加したPTA、気づけば14年間役員をしていました。コロナ禍やGIGAスクール構想などで、学校の状況や保護者の関わり方が大きく変わってきた中で経験したいろいろな事を思い出しながら、素晴らしいパネリストの皆様から良いお話を引き出せるように進行を務めさせていただきます。

基調提案 実践発表 パネリスト



的場 茂樹 氏

経 歴 :
金沢大学附属小学校副校長 金沢市内公立小学校校長
金沢こども未来局青少年健全育成センター少年育成
支援室 金沢初のSNS担当 歴任
現在 金沢学院大学教育学部教育学科 准教授

私が金沢市の小学校に勤務しているときには、ずいぶん地域や保護者の方にお世話になりました。学校と地域、保護者が連携すると学校が生き生きとし、子どもたちや先生方が生き生きとします。私が今まで小学校の教諭・主幹教諭・教頭・副校長、校長とそれぞれの立場で経験してきたことをお話しすることでPTA側の立場としてどのように学校と共に歩むことがいいのか少しでも参考になれば嬉しいです。

基調提案 実践発表 パネリスト



阿部 雄介 氏

経 歴 :

- 2018 各務原市立鵜沼第一小学校PTA会長
- 2020・2021 各務原市PTA連合会副会長
- 2022・2023 各務原市PTA連合会会長
- 2024・2025 岐阜県PTA連合会会長
- 2025 各務原市立鵜沼中学校PTA会長

環境の変化に伴い役員や会員の負担が問題視されていることを知っています。未加入者の増加や連合会からの脱退など、その存在意義が問われていることも知っています。しかし、子どもたちの健全な成長を願う大人たちの強い思いは、太古の昔より絶対に不変であることも知っています。

だから、PTA大変革時代の今を生きる我々は、どんな手法でPTAの必要性を発信し、どんな仲間たちを集め、どんな組織を作り活動するべきか、そんなことを皆様とともに学ぶ時間になれば幸いです。



大谷 イビス 氏

経 歴 :

- 「インターネットASCII」や「アスキーNT」
- 「NETWORK magazine」などの編集を担当し、2011年から現職。
- 「ITだってエンタテインメント」をキーワードに、エンジニア界隈やユーザーコミュニティを中心にした情報発信を手がけている。2017年からは新メディア
- 「ASCII TeamLeaders」を立ち上げ、働き方とテクノロジーの理想像を追い続けている。

ひょんなことから今回の登壇の機会をいただきました。石川県という土地にまったく縁のない首都圏のIT記者ですが、娘のPTA活動に奔走した経歴やPTA自体への取材経験もあります。こうした経験を踏まえ、メディアの立場から、発信すること、関心を持ってもらうことの重要性、そしてコミュニケーションを楽しくするツールについてお話しさせていただきたいと思っています。みなさまからの意見や感想も聞きたいです。よろしくおねがいたします。